

## 自己評価・外部評価 評価表

| タイトル<br>番号                          | タイトル                           | 項目<br>番号 | 項目  | 自己評価      |                 |                           |                | コメント  | 外部評価<br>コメント   |
|-------------------------------------|--------------------------------|----------|---|-----------|-----------------|---------------------------|----------------|---|--|
|                                     |                                |          |   | 実施状況      |                 |                           |                |   |  |
|                                     |                                |          |   | でき<br>ている | ほぼ<br>でき<br>ている | でき<br>ない<br>こと<br>が多<br>い | 全く<br>でき<br>ない |   |  |
| <b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b> |                                |          |   |           |                 |                           |                |   |  |
| <b>(1) 理念の明確化</b>                   |                                |          |   |           |                 |                           |                |   |  |
| ①                                   | サービスの<br>特徴を踏ま<br>えた理念の<br>明確化 | 1        | 当該サービスの特徴で<br>ある「利用者等の在宅生<br>活の継続」と「心身の機<br>能の維持回復」を実現す<br>るため、事業所独自の理<br>念を掲げている                                       | 4         | 7               |                           |                | ご利用者様個別性を重視し、出<br>来る事出来ない事のニーズを把<br>握し、問題点をスタッフ間で共<br>有しケア出来ています。又、機<br>能の維持回復が出来、在宅生活<br>の継続を図る為、自立に向けた<br>支援を行っています。  | 構造評価に限定したコメントは<br>ありませんでしたが、定期巡回<br>サービスの概要説明を行い、事<br>業報告を行うことでサービス内<br>容のご理解に努めました。 |
| <b>(2) 適切な人材の育成</b>                 |                                |          |   |           |                 |                           |                |   |  |
| ①                                   | 専門技術の<br>向上のため<br>の取り組み        | 2        | 管理者と職員は、当該サ<br>ービスの特徴および事<br>業所の理念について、そ<br>の内容を十分に認識し<br>ている   | 3         | 8               |                           |                | 動画研修や実務研修を行うと共<br>に、個人に合わせたケアの取り<br>組みが実践出来ています。理念<br>や部署目標は掲示して意識付け<br>すれば直良いと思います。  | 構造評価に限定したコメントは<br>ありませんでしたが、定期巡回<br>サービスの概要説明を行い、事<br>業報告を行うことでサービス内<br>容のご理解に努めました。 |
|                                     |                                | 3        | 運営者は、専門技術（ア<br>セスメント、随時対応時<br>のオペレーターの判断<br>能力など）の向上のため、<br>職員を育成するための<br>具体的な仕組みの構<br>築や、法人内外の研修を<br>受ける機会等を確保し<br>ている | 2         | 2               | 7                         |                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門技術に対しての研修取<br/>り組みが不十分なところがみら<br/>れる。</li> <li>・リモートで外部講師の研修を<br/>受け個人目標に沿った動画研修<br/>の機会を設けている</li> <li>・動画研修で理解出来ている面<br/>もあるが、職員育成のためにな<br/>っているかは分からない。</li> <li>・不安に思うケア、研修でスキ<br/>ルアップ出来る研修が出来てい<br/>る</li> <li>・研修を取り入れたり、より良<br/>いケアを行う為に報連相が出来</li> </ul> | 構造評価に限定したコメントは<br>ありませんでしたが、定期巡回<br>サービスの概要説明を行い、事<br>業報告を行うことでサービス内<br>容のご理解に努めました。 |

|  |  |  |  |  |  |   |  |
|--|--|--|--|--|--|---|--|
|  |  |  |  |  |  | <p>ている・具体的な仕組みの構築、研修等を行うまでは至っていない</p> <p>・改善点：オペレーターの判断能力向上の為の知識向上の取り組みを重点的に行う必要があると思います。個々に合わせた動画研修やカンファレンスの実践を行います。</p> <p><b>【今後の改善点】</b><br/>地域包括システムの中に位置づけられる定期巡回の役割を、まず全スタッフに周知して、その中から自社で出来ること、やるべきことを話し合い、目標を明確にしていく。<br/>さらに目標を実現するために保有している能力と満たしていない能力を精査して満たすために研修などを通じて品質サービスを向上させていく</p> |  |
|--|--|--|--|--|--|---|--|

| タイトル<br>番号 | タイトル                      | 項目<br>番号 | 項目   | 自己評価      |                 |                                 |                              | コメント   | 外部評価<br>コメント |
|------------|---------------------------|----------|--|-----------|-----------------|---------------------------------|------------------------------|--|--------------|
|            |                           |          |  | 実施状況      |                 |                                 |                              |  |              |
|            |                           |          |  | でき<br>ている | ほぼ<br>でき<br>ている | でき<br>てい<br>ない<br>こと<br>が多<br>い | 全<br>く<br>でき<br>て<br>い<br>ない |  |              |
|            |                           | 4        | 管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している | 2         | 8               |                                 |                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の能力が発揮できる様配慮出来ている。</li> <li>・緊急利用開始以外は事前の情報収集に数日の余裕が欲しい。</li> <li>・夜間訪問は夜勤者全員が対応出来ているが、個別的に調整することが難しい</li> <li>・男性職員がいる中でパワーを活かした訪問調整が出来たら良いと思う。</li> </ul>  |              |
| ②          | 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保 | 5        | 介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている      | 3         | 7               |                                 |                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で、ご利用様の体調変化や変更事項など、申し送りノートや通信ツールを活用し対応出来ている。</li> <li>・ミニカンファレンスや隙間時間を活用し、職員間の意見が聞き、検討し、問題に対する解決策を共有してケアが出来ている。</li> <li>・全員集まることが出来にくい</li> </ul> <p><b>【今後の改善点】</b><br/>           看護師と介護職の仕事が混在していて連携は出来ているが、今後は介護看護の業務のすみ分けを明確にしていき、専門性の高いサービスを目指していく。<br/>           そのためには、日常業務や月次業務が一部のスタッフに偏らないように業務分担をすすめていく</p> |              |

|                       |                           |   |   |   |   |   |  |   |   |
|-----------------------|---------------------------|---|---|---|---|---|--|---|---|
|                       |                           |   |   |   |   |   |  | またショートカンファレンスをこまめに定期開催することで重要管理点の見落としが無いように連携をとっていく   |   |
| <b>(3) 適切な組織体制の構築</b> |                           |   |   |   |   |   |  |   |   |
| ①                     | 組織マネジメントの取り組み             | 6 | 利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている                            | 3 | 6 | 1 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の調整は考慮されている。</li> <li>・配置適正数を出すことにより、日々の人員配置や新規の受け入れ等スムーズに進むのではないか。</li> <li>・<u>利用者の特性に応じて人材配置を行っているという印象を受けない</u></li> </ul>  |   |
| ②                     | 介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映 | 7 | 介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている | 2 | 3 | 3 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有に取り組んでいる</li> <li>・ミニカンファレンスなどの開催を通じ周知したり、情報共有に取り組んでいる。</li> <li>・柔軟なサービスに繋がっている。</li> </ul> <p><b>【今後の改善点】</b><br/> 365日24時間対応できるための人員配置には非常に高いコストがかかります。その中で緊急時に対応できるゆとりを常にキープするとさらにコスト高になり、収益構造が厳しいままになるため、常日頃より勤務シフトに対する管理が必要になるため、運営コストをしっかりと把握できる方がマネジメントをしていく必要があるため教育と人材育成が重要</p> | <p>今回の運営推進会議では推進委員より夜間帯一人で訪問するので、危険な目に遭うことも考えられます。慣れてきたら、セクハラなども考えられるので、何かあれば、すぐに管理者や警察に連絡出来る様しておいた方が良いでしょう。とのアドバイスをいただきました。</p> <p>24時間365日体制で体制維持継続していくために利用者さんの安全はもとよりスタッフの安全に対する意識を強めていかなければいけないことを改めて痛感いたしました。早速、緊急体制の再確認と再徹底・防犯ブザーの調達・夜間用ユニホームの手配について対応いたします。</p> |

| タイトル<br>番号                    | タイトル                         | 項目<br>番号 | 項目  | 自己評価      |                 |                                 |  | コメント   | 外部評価<br>コメント |
|-------------------------------|------------------------------|----------|---|-----------|-----------------|---------------------------------|--|--|--------------|
|                               |                              |          |   | 実施状況      |                 |                                 |  |  |              |
|                               |                              |          |   | でき<br>ている | ほぼ<br>でき<br>ている | でき<br>てい<br>ない<br>こと<br>が多<br>い | 全く<br>でき<br>てい<br>ない   |  |              |
| <b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b> |                              |          |   |           |                 |                                 |  |  |              |
| ①                             | 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備 | 8        | 利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている                         | 4         | 7               | 1                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りノートや通信ツールを利用し共有出来ている為、とても分かりやすい。</li> <li>・申し送りノートの未確認や時間経過に伴う手順確認不足で苦情が入った。</li> </ul>  |  |              |
| <b>(5) 安全管理の徹底</b>            |                              |          |   |           |                 |                                 |  |  |              |
| ①                             | 職員の安全管理                      | 9        | サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等ため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等) | 4         | 5               | 3                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的対策まで職員間で認識出来ていない。</li> <li>・口頭訓練のみで定期巡回で実際、身体を動かした訓練はしていない</li> <li>・防犯対策、災害対応は出来ていないが安否確認訓練は実施済み</li> </ul> <p><b>【今後の課題】</b>動画研修のみになっているため、実際の机上でのシュミレーション後に動きを交えた訓練を行いたい</p> | <p><b>質問) オペレーターが夜間移動する上で安全確保できるように事業者は配慮が出来るか?</b></p> <p>返答) 夜間大き目のLEDライトを携帯しているぐらいでは何もできていない<br/>推進委員より) 防犯ブザーや夜間でもヘルパーだと分かるような服装なり、工夫されたらどうか</p> <p>返答) *上記と同様ですが早速 服装とブザーの手配を行います</p> |              |

|   |                      |    |   |   |   |  |  |   |  |
|---|----------------------|----|---|---|---|--|--|---|--|
| ② | 利用者等の<br>個人情報の<br>保護 | 10 | 事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている | 7 | 5 |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイリングされており、持ち出しやFAXは禁止されている</li> <li>・秘密保持の説明動画研修などで重要性の共有が出来ている</li> <li>・新人スタッフにも適宜研修が必要で、その管理が重要</li> </ul> |  |
|---|----------------------|----|---|---|---|--|--|---|--|

| タイトル<br>番号                            | タイトル   | 項目<br>番号 | 項目  | 自己評価      |                 |                                 |                      | コメント  | 外部評価<br>コメント |
|---------------------------------------|--|----------|---|-----------|-----------------|---------------------------------|----------------------|---|--------------|
|                                       |  |          |   | 実施状況      |                 |                                 |                      |   |              |
|                                       |  |          |   | でき<br>ている | ほぼ<br>でき<br>ている | でき<br>てい<br>ない<br>こと<br>が多<br>い | 全く<br>でき<br>てい<br>ない |   |              |
| <b>II 過程評価 (Process)</b>              |  |          |   |           |                 |                                 |                      |   |              |
| <b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>    |  |          |   |           |                 |                                 |                      |   |              |
| <b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b> |  |          |   |           |                 |                                 |                      |   |              |
| ①                                     | 利用者等の<br>24 時間の暮<br>らし全体に<br>着目した、介<br>護・看護両面<br>からのアセ<br>スメントの<br>実施  | 11       | 利用者等の一日の生活<br>リズムに着目した、アセ<br>スメントが提案されて<br>いる                 | 3         | 7               |                                 |                      | 疑問点や課題があると皆で考<br>え、ご利用者様にとって生活し<br>やすいようにアセスメントで聞<br>いていると思います。     |              |
|                                       |  | 12       | 介護・看護の両面からの<br>アセスメントが適切に<br>実施され、両者の共有、<br>つき合わせ等が行われ<br>ている | 3         | 6               | 1                               |                      | 適切に実施するのは、なかなか<br>難しい 両面からアセスメント<br>を適切にするには不十分なこと<br>が多い           |              |
| ②                                     | 利用者の心<br>身の機能の<br>維持回復や<br>在宅生活の<br>継続に軸足<br>を置いた「未<br>来志向型」の<br>計画の作成 | 1<br>3   | 利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている                             | 1         | 8               |                                 |                      | OT採用に伴って多職種間で意見し具体策を決めることが出来ている<br>・実際に自立支援で改善し、定期巡回から訪問介護に変わった方がある |              |

| タイトル<br>番号                         | タイトル  | 項目<br>番号 | 項目   | 自己評価      |                 |                                 |                      | コメント  | 外部評価<br>コメント   |
|------------------------------------|---|----------|--|-----------|-----------------|---------------------------------|----------------------|---|--|
|                                    |   |          |  | 実施状況      |                 |                                 |                      |   |  |
|                                    |   |          |  | でき<br>ている | ほぼ<br>でき<br>ている | でき<br>てい<br>ない<br>こと<br>が多<br>い | 全く<br>でき<br>てい<br>ない |   |  |
|                                    |   | 14       | 重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている     | 1         | 5               |                                 |                      | <p>症状の進行により、入院という状況が続いているが在宅を希望される方に対して在宅ケアの推進に努める</p> <p><b>【今後の改善点】</b> 定期巡回は、その方の暮らしを見つめることができやすい、だからこそ、変化に対応しやすい。そのため変化があった時は、対応を変えながら調整していきたい。ただ同時にどこまでも訪問増やし続けるのかの線引きが難しい。そこを整理していきたい面もある</p> | <p>運営推進委員様より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵の扱いには十分注意が必要です。</li> <li>・遠方の利用者もおられるので、エリアを絞った方が良いですね。</li> </ul> <p>とのアドバイスをいただきました。夜間キーボックスの説明と書面も交わしていることをお伝えいたしました。</p> |
| <b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b> |   |          |  |           |                 |                                 |                      |   |  |
| ①                                  | 計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供 | 15       | 計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている | 6         | 4               |                                 |                      | <p>定期ご利用者が増えていく中で（1日3から4回毎日の利用者）随時対応や訪問が難しくなっている</p> <p><b>【今後の改善点】</b><br/>どうしても訪問回数が増えていくことが多い 必ずしも介護度と並行して回数が必要になるとは限らず、介護度の低い方でも環境によっては非常に手厚く対応できているときがある。そのバランスが課題でもある。</p>                    | <p>また夜間想定で考えると地域を市街地に絞っていく方向で考えていることも合わせてお伝えさせていただきました。</p>  |

|   |  |    |  |   |   |   |  |   |  |
|---|--|----|--|---|---|---|--|---|--|
| ② | 継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映 | 16 | サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている | 4 | 5 | 1 |  | <p>手順書の見直し、モニタリングにより、変化に対応していると思う</p> <p>状況変化のある方に対する対応・対策を反映・周知することが容易ではない</p> |  |
|---|--|----|--|---|---|---|--|---|--|

| タイトル<br>番号                         | タイトル                          | 項目<br>番号 | 項目   | 自己評価      |                 |                                 |                      | コメント   | 外部評価<br>コメント |
|------------------------------------|-------------------------------|----------|--|-----------|-----------------|---------------------------------|----------------------|--|--------------|
|                                    |                               |          |  | 実施状況      |                 |                                 |                      |  |              |
|                                    |                               |          |  | でき<br>ている | ほぼ<br>でき<br>ている | でき<br>てい<br>ない<br>こと<br>が多<br>い | 全く<br>でき<br>てい<br>ない |  |              |
| <b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b> |                               |          |  |           |                 |                                 |                      |  |              |
| ①                                  | 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供 | 17       | より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている | 2         | 6               | 1                               | 1                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護も介護に行くことがあるNS負担が大きい</li> <li>日々のシフトでNS 2人体制が望ましい</li> <li>・看護師が少なく負担が大きいように思います。</li> </ul>  |              |
| ②                                  | 看護職によるサービス提供に関する指導、助言         | 18       | 看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている  | 2         | 6               | 2                               |                      | 疾病予防に対する対策の徹底は、まだできていない そのような中、NSの存在は大きく、とても心強い<br><b>【今後の課題】</b><br>看護師の増員が喫緊の課題 来年1月の採用を目指して調整中<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師による疾病の研修はとても分かりやすい。機会を増やして、知識の蓄積を継続していく</li> </ul> |              |
| <b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>         |                               |          |  |           |                 |                                 |                      |  |              |

|   |                                    |    |   |   |   |   |  |   |  |
|---|------------------------------------|----|---|---|---|---|--|---|--|
| ① | 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供 | 19 | サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている | 2 | 7 | 1 |  | 個々のタイミングで出来ていない 新規受け入れ時 担当者会議までに、もっと多くの情報が欲しい |  |
|---|------------------------------------|----|---|---|---|---|--|---|--|

| タイトル<br>番号 | タイトル                        | 項目<br>番号 | 項目  | 自己評価      |                 |                                 |                      | コメント  | 外部評価<br>コメント |
|------------|-----------------------------|----------|---|-----------|-----------------|---------------------------------|----------------------|---|--------------|
|            |                             |          |   | 実施状況      |                 |                                 |                      |   |              |
|            |                             |          |   | でき<br>ている | ほぼ<br>でき<br>ている | でき<br>てい<br>ない<br>こと<br>が多<br>い | 全く<br>でき<br>てい<br>ない |   |              |
| ②          | 利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供 | 20       | 作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている | 4         | 5               | 2                               |                      | 計画作成担当者や管理者など契約時にしっかりと説明はしている   |              |
|            |                             | 21       | 利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている | 4         | 6               | 1                               |                      | <p>家族との関係性は密だと感じる</p> <p>ネット上でもケア記録が閲覧できる。家族によるが、日々閲覧されている方がある</p> <p><b>【今後の課題】</b><br/>「契約の時に伝えました」と報告を受けることがある。本当に伝えて、その時は納得されていても、実際サービスが開始になると伝えたことでも混乱されることがある。その辺り、伝えた。伝わった。理解された。など階層を分けてフォローしていく必要がある。</p> |              |

2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント

(1) 共同ケアマネジメントの実践

|   |   |    |   |   |   |   |  |  |
|---|---|----|---|---|---|---|--|--|
| ① | 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案 | 22 | ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている | 5 | 6 |   | 担当者会議及び計画の変更時には連絡をとり、経緯の説明をしている<br><b>【今後の改善点】</b><br>普段の随時サービス変更は、事後報告になることがあるので漏れずに連絡が取れるように体制と仕組みをしっかりと作りたい |  |
|   |   | 23 | 計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている       | 3 | 6 | 1 | 状況に応じ日々変化しています   |  |

| タイトル<br>番号                            | タイトル   | 項目<br>番号 | 項目   | 自己評価      |                 |                                 |                      | コメント  | 外部評価<br>コメント |
|---------------------------------------|--|----------|--|-----------|-----------------|---------------------------------|----------------------|---|--------------|
|                                       |  |          |  | 実施状況      |                 |                                 |                      |   |              |
|                                       |  |          |  | でき<br>ている | ほぼ<br>でき<br>ている | でき<br>てい<br>ない<br>こと<br>が多<br>い | 全く<br>でき<br>てい<br>ない |   |              |
| ②                                     | 定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供        | 24       | サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている  | 4         | 6               |                                 |                      | 担当者会議の要約を共有している。しっかりと記載して共有しているつもりであるが、伝わり切れていないこともあるため、しっかりと現認していくことが重要        |              |
| <b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b> |  |          |  |           |                 |                                 |                      |   |              |
| ①                                     | 利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討 | 25       | 利用者の在宅生活の継続に必要なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）               | 2         | 3               | 1                               |                      | 定期巡回サービスに集中してしまっているため保険外まで俯瞰して客観視できていないことがある。時には俯瞰してみることが重要                     |              |
|                                       |  | 26       | 病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目） | 2         | 3               | 1                               |                      | 病院には定期巡回のサービスを伝えるが、なかなか伝わらない。きつと病院でのニーズと違う面があるのだと思うが、いまのところそれがどのような事なのか、不明な点が多い |              |

| タイトル<br>番号                     | タイトル  | 項目<br>番号 | 項目   | 自己評価      |                 |                                 |                      | コメント   | 外部評価<br>コメント |
|--------------------------------|---|----------|--|-----------|-----------------|---------------------------------|----------------------|--|--------------|
|                                |   |          |  | 実施状況      |                 |                                 |                      |  |              |
|                                |   |          |  | でき<br>ている | ほぼ<br>でき<br>ている | でき<br>てい<br>ない<br>こと<br>が多<br>い | 全く<br>でき<br>てい<br>ない |  |              |
| ②                              | 多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案   | 27       | 地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目） | 2         | 4               | 2                               |                      | 地域連携できるところがまだまだあると我々当事者は感じているが、そのポテンシャルの部分がなかなか外部の専門職の方に伝えきれていない。ここが非常に課題だと感じる                         |              |
| <b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b> |   |          |  |           |                 |                                 |                      |  |              |
| <b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>    |   |          |  |           |                 |                                 |                      |  |              |
| ①                              | 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信 | 28       | 介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている                                     | 2         | 5               | 2                               |                      | 全員に周知できるように工夫出来ていると思う  |              |
|                                |   | 29       | 当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている                                     | 2         | 2               | 3                               |                      | 開設当初は様々なパンフレットなどを配布した。サービスを实际利用されてこそはじめて伝わることが多いのだなと感じるので合わなければ変えていけば良いのではと思うが何度も担当者会議開催になるので気が引けてしまう。 |              |

| タイトル<br>番号                              | タイトル                               | 項目<br>番号 | 項目  | 自己評価      |                 |                                 |                      | コメント  | 外部評価<br>コメント |
|---|------------------------------------|----------|---|-----------|-----------------|---------------------------------|----------------------|---|--------------|
|   |                                    |          |   | 実施状況      |                 |                                 |                      |   |              |
|   |                                    |          |   | でき<br>ている | ほぼ<br>でき<br>ている | でき<br>てい<br>ない<br>こと<br>が多<br>い | 全く<br>でき<br>てい<br>ない |   |              |
| <b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b> |                                    |          |   |           |                 |                                 |                      |   |              |
| ①                                       | 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解         | 30       | 行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している  |           | 3               | 3                               | 1                    | 行政の方と地域包括ケアシステムの構築に向かって足並みを合わせたいが、まずはやるべきことをやっていくことしかできていない |              |
| ②                                       | サービス提供における、地域への展開                  | 31       | サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている  | 1         | 5               | 2                               |                      | 郊外にも訪問に行っている  |              |
| ③                                       | 安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等 | 32       | 当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目） | 1         | 2               | 1                               | 1                    |   |              |

| タイトル<br>番号              | タイトル           | 項目<br>番号 | 項目  | 自己評価      |                 |                                 |                      | コメント                                 | 外部評価<br>コメント |
|-------------------------|----------------|----------|---|-----------|-----------------|---------------------------------|----------------------|--------------------------------------|--------------|
|                         |                |          |   | 実施状況      |                 |                                 |                      |                                      |              |
|                         |                |          |   | でき<br>ている | ほぼ<br>でき<br>ている | でき<br>てい<br>ない<br>こと<br>が多<br>い | 全く<br>でき<br>てい<br>ない |                                      |              |
| <b>Ⅲ 結果評価 (Outcome)</b> |                |          |   |           |                 |                                 |                      |                                      |              |
| ①                       | サービス導入後の利用者の変化 | 33       | サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている           | 2         | 8               |                                 |                      | 24時間包括して訪問しているため合う方にはとても合うサービスだと感じます |              |
| ②                       | 在宅生活の継続に対する安心感 | 34       | サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている | 2         | 9               |                                 |                      | 定期巡回がなければ独居は難しいだろうと感じる方もある           |              |

